



一 般 質 問 …… P 2 ～ 9

町 議 会 審 議 結 果 …… P10～12  
7月臨時会 9月定例会

決 算 審 査 特 別 委 員 会 …… P13

委 員 会 等 の 動 き …… P14～15

表 紙 の コ メ ン ト …… P16

発行/上川町議会

編集/議会広報特別委員会



たのしかった  
幼稚園…

春から  
こども園に  
生まれ変わります



認定こども園に統合されることになった上川幼稚園とのぞみ幼稚園のみなさん



# 一般質問

令和6年第5回町議会（定例3）の一般質問は、9月11日に行い、泉議員ほか計5人が町長の考え方を問いました。

（記事の内容は要点を掲載しております。）

**泉議員** 認定こども園開設が来年4月に迫っているが、給食業務体制については暫定的に学校給食センターで調理し、こども園に提供すると聞いている。今後の見通しは。



2歳児の給食。使う食材の種類や、カットの大きさに配慮が必要となる

認定こども園の給食業務体制について

## こども園

認定こども園の給食体制は？ 他2件

町長「調理員不足により給食センターを併用してのスタート」

**町長**

開園時については、3歳未満児はこども園で調理を行い、3歳以上児は給食センターからの調理・提供を予定している。

その主な理由は調理員確保の問題である。中央保育所で現在調理員が不足している状況から、こども園開設時においても、すべての園児への給食を提供することは困難と判断した。

今後は、こども園の児童数、調理員数の確保状況を踏まえ、給食の提供方法を考えていく。

**泉議員**

スタート時は

暫定的な体制と思うが、こども園と給食センターとの連携・連絡体制、特に緊急時における連携がとれるのか。食物アレルギーの問題など、担当者同士での連携や職員体制をあらかじめ検討すべきと思

うが。



いずみ かつお 泉 勝雄 議員

**町長**

こども園の連携・連絡体制については、教育委員会と中央保育所、保健福祉課で連携をし、協議を進めている。緊急時についてもしっかりと連携体制をとれるよう、協議を進めていきたい。

また、食物アレルギーについては、現在、学校には栄養教諭、中央保育所には栄養士が配置されているが、こども園においても、栄養士間の連携や調理員間の連携も含めて対応を進めていきたい。

**泉議員**

充実した連携体制を追及してほしい。また人手不足で体制が確立できないという状況を早急に解消する努力を望む。

## 単身高齢者対策について

### 泉議員

町内の単身高齢者の中には、この町に住み続けたいと思いながら、将来どこでどのように暮らしていけば良いのかという不安をもち、日々過ごされている方がいる。「高齢者が気軽に相談に行ける場所、費用がかかっても、単身で安心して住み続けられる施設があれば」との意見も耳にするが、町長の考えを伺う。

### 町長

近年、単身で暮らす高齢者が増加しており、



町内の高齢者施設に元気な高齢者が入ることは難しい

町内でも、令和6年3月末時点で「65歳以上の単身世帯数」が全世帯数のうちの約3割を占めている。

このような状況の中、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、民生委員・児童委員をはじめ、地域包括支援センターや社会福祉協議会と連携を図りながら、困りごとや心配ごとなど問題解決に向けて取り組んでいる。

また「家事援助サービス」、「給食サービス」、「除雪サービス」などの生活支援サービスを実施するとともに、高齢者の通院や買い物物の利便性に配慮した町営住宅の整備も行っている。

このような取り組みを継続しながら、高齢者の居住環境整備についても調査研究を進めていきたい。

### 泉議員

今後の可能性として、一つソフト面で考えてみると、町内に「ケア・コタン上川」という福祉・医療の関係者、保健福祉課職員、

地域おこし協力隊などが集まって話をする取り組みがあるが、例えばケア・コタンのミニ版のようなものがあれば、気軽に相談に行けるのではないかと。

また、ハード面では、多少自己負担費がかかっても共同で入れる施設ができないものかと思う。そのような意見も含め、様々なニーズをまとめ、いく形が地域の中にはないため、行政の力を借りて、新たなものを作っていければと考えている。

### 町長

まず、ソフト事業の部分について、ケア・コタンも含めた色々な活動の力をお借りしながら進めていかざるを得ないと思っている。

また、町民の中に「町の保健室」を作りたい」と言われている方がいる。体のこと、生活のことなどの色々な相談を聞いてもらえる、そういうものが具体的に実現していくということがあれば、町としても支援をしていきたい。次のハード面の整備について

では、こういった形の住宅が必要なのかニーズを把握できていない状況である。

今年、公営住宅長寿命化計画の策定に入るが、その中で高齢者向け住宅についても話をしており、一定程度の可能性があると聞いている。議論をスタートさせていきたいと思っているため理解をお願いしたい。



## 町立医療センターでの人工透析診療実施の可能性について

### 泉議員

比布町の診療所が透析診療を来春には終了するとの新聞報道がなされた。早急な対応策を検討すべき。また、将来的な可能性とし

て、上川医療センターでの人工透析診療の実施について検討すべきと思うが、町長の考えを伺う。

#### 町長

現在、腎臓機能障がい専門の医療機関に通院されている町民が10名で、週3回通院し、人工透析に4時間程度かかっている。本人やご家族の大きな負担となっており、町としても交通費の支援などを実施してきている。

「医療センターでの人工透析診療の実施」については、人工透析に精通した医師がいないことや、実施にあたっては、医療センターを改修して透析室を設置し、必要な備品・透析装置を整備し、人工透析を行う臨床工学技士・看護師を採用しなければならないことから、現段階では実施は厳しいと考えている。

#### 泉議員

極めて難しいと認識はしているが、費用としてどの程度かかるものなのか。



JRは上川ー旭川の定期券を、月額16,250円から18,210円に上げようとしている

### 教育支援

#### 町長

設備整備だけで約3千9百万円。施設の改修・人件費等を含めると初期投資として約6千万円近くの財源を捻出しなければならない。

町外高校への進学者にも支援を 他1件  
教育長「JR運賃増額分をはじめ、支援を検討していきたい」

#### 瀧上議員

来年4月から

JRの運賃が値上がりし旭川駅までの定期券が12%上がる。上川高校に入学した場合、各種助成として、通学費については全額、下宿代は半額、入学準備金として10万円、上川中学校から入学した場合は年額12万円で3年間支給される。

一方、町外の高校の場合に助成はなく、保護者の経済的負担の視点では格差がある。

充実した助成がある上川高校を選択したくても、大学進学や専門技術を身につけたいという希望や、部活動の関係

また、交通費については、引き続き助成を行なっていくので理解をお願いしたい。



ふちがみ かずみ 議員  
瀧上 主美

からできない状況である。

また、義務教育下での越境入学や札幌などの高校を選択した際は下宿することとなる。これらの通学費や下宿代の費用について助成できないか。

#### 教育長

様々な助成は、上川高校の存続対策として取り組んできたため、町外高校進学者への助成をしてこなかった。

来年度JRの運賃が値上げとなった場合、町外から上川高校への通学費は全額助成のため影響はないが、町内から

町外への通学費についてはどのような支援が必要か、実態等を勘案し検討する。

#### 遡上議員

町外高校への通学費について、何らかの支援をしてもらえるということか。

#### 教育長

今後経済的負担が増える運賃増額分を支援したいと考えている。

#### 遡上議員

まだ予算策定まで時間があるので、さらなる支援拡充を検討してほしい。

#### 教育長

教育的支援が経済的な子育て支援になるのか審議を重ね、予算編成時までには検討していきたい。

#### 遡上議員

下宿代の助成についてはいかがか。

#### 教育長

近隣町村でそのようなところがあるか調査し、見極めたい。



ミニトマト、とうきび、じゃがいもなど上川町産の食材が学校給食に使われている

### 子どもの食の充実に向けて

#### 遡上議員

1日3食摂っている子どもの割合は年々下がっている。菓子パンやカップ麺だけでなく、十分な栄養の摂取がなされていない。

物価高のなか、限られた予算で給食の質の維持は厳しいのではないかと。食の充実にして学校給食の品数の増や、安全面では農薬や添加物の少ない国内産を使用してもらいたい。また、地場の食材を多く取り入れてもらいたい。

給食のない夏・冬休みは、

子ども食堂のようなものがあれば、経済的・環境的に厳しい家庭の子どもも食の安定が図られる。だが人材や資金面の問題があり、町の新制度「みんなが輝くまちかみかわ事業支援金」を利用できればと考えるが町長の考えを伺う。

#### 町長

健全な食生活は、子どもの心身の健康を育むために欠かせない要素と認識している。学校給食は必要な栄養量を充分満たすよう献立を作り、食材も国内産を中心に調達するよう心がけている。既製品や食品添加物を抑えた手作り料理を多く取り入れ、好評である。

品数については、調理時間などにより増やすことは容易ではないため、デザートを追加するなど検討する。地場産品の食材については、増やしていきたい。

学校給食が提供できない期間に、子ども食堂は重要な役割を果たすと考える。地域住民を対象にまちなかサロン「きてみんか」が安価で食事

を提供しているが、開催日時などの理由から子どもたちは利用できない。

子ども食堂を行う団体があれば、新制度を活用してもらい、町として支援していく。

#### 遡上議員

これだけ物価が上がる中、限られた予算で給食の質の確保は大変だと思うが、現状と今後の見通しを伺う。

#### 町長

物価が高騰し、現場は苦勞している。財源は限られているがどこまで単価を上げられるか検討する。高校生や教職員は実費を払ってもらっているため、その兼ね合いもある。

#### 教育長

今年度の予算は物価高騰のため増額した。これまででは経費節減のため一部外国産に切り替えていたが、今年から国内産に戻せた。物価は上がり続けているので、予算に不足が生じた場合は、補正をして現状を維持したい。

### 洲上議員

品数を増やせないということだが、具材のレベルアップや、乳酸菌を多く取り入れるなどだろうか。

### 教育長

管理栄養士と協議をしていきたい。

### 洲上議員

地場産品について、取り扱っているのは野菜だけだと聞いている。様々な食材を扱えるシステムの構築の検討をしてもらいたい。また地場の食材で、規格外は扱えないか。

### 教育長

町内産の牛肉など流通の手段がない。

農家などから出る規格外の食材を、直接仕入れるのは難しい。取り扱える団体が登録して行うことは可能だが、現状は厳しい。

### 洲上議員

ぜひ協議してほしい。上川の多くの子どもは給食に興味を持っている。手作りの料理が多くおいしいのだと思う。



層雲峡温泉をはじめとする観光業・宿泊業への影響は大きい

## 宿泊税

独自の宿泊税の導入予定は？

町長「入湯税との兼ね合いもあり慎重に検討したい」

宿泊税導入について

### 溝口議員

鈴木北海道知

事は、今年道議会で宿泊税の導入について「道民の理解は得られてきている」と述べ「2026年4月の導入に向け、条例策定に着手する」と表明した。この道の動きについて町長の考えを伺う。

また、宿泊税については、観光地を有する市町村では導入を決めたり、検討したりしている自治体もあるが上川町の対応について伺いたい。

もテコ入れをしてほしい。

### 町長

きてみんかの方々の経験を踏まえ、相談や連携を図り検討したい。

### 洲上議員

食えることは生きること。有機食材を扱うのがベストであり、将来的にここを目指してほしい。



みぞぐち ひさお 議員

### 町長

宿泊税は、ホテルなどの宿泊料金に応じて観光客から一定の金額を徴収し、その収益を観光振興や地域の整備に活用することを目的として、東京都などの9自治体が導入している。北海道では倶知安町が唯一、導入している。

これについて道から説明を受けたが、北海道の観光を取り巻く状況や今後の取り組みの方向性を理解し、新税の使途や納税方法などの協議が必

要ではあるものの、基本的には道内への効果の波及を期待している。

道の税額分に乗せ課税する自治体もあるが、上川町としては、平成30年4月以降の入湯税について、層雲峡温泉大手5ホテルの宿泊者から100円増額の250円を先行して徴収している実態にある。

このため当町における独自の宿泊税の導入については、導入後の使途や効果について、先行自治体や主要観光地から情報収集するとともに、地元観光団体や事業者と議論を進めながら、慎重に検討したい。

#### 溝口議員

課税内容や対象など、詳しい説明はあったか。

#### 町長

税額は、宿泊料金によって課税額100円、200円、500円の区分がある。新税の使途として、新たな観光需要の喚起、災害時の体制構築などをあげ、北海

道観光の発展と成長を図ると説明を受けた。

#### 溝口議員

まだ問題も多い。上川町の民宿などは建設業者などの方が長期にわたり安価な料金で宿泊している。また、修学旅行や受験、通院などで泊まる方はどうなるの

か。

#### 町長

減免になるのは修学旅行の宿泊者のみで、その他は課税する、と道は考えている。

私も、民宿などが宿泊税を客のかわりに被ることにならないか非常に懸念している。

### 義務教育学校

義務教育学校のデメリットへの対策は

教育長「ソーシャルワーカー採用など、さまざまな策を講じていきたい」

小・中学校教育の魅力化について

#### 大村議員

小・中学校に通う子どもの保護者から「上川高校と比べ、小・中学校では魅力化の取り組みが不足している」という声を聞いた。今後の上川を担う人材の育成として、特に幼少期の教育が重要と考えるが、教育長の考えを伺う。

#### 教育長

上川町では、「ふるさと教育」を通じて、子どもたちの郷土理解を深め、上川町へ生まれ育ったことへの自信と誇りを育んでいる。

平成30年度よりコミュニティスクールを設立し、地域全体で学校を支援する体制を整え、地域おこし協力隊などの地域人材がサポートすることで、より魅力ある学びの場をつくってきた。

今後は、少子化に対応する

道に対して意見していきたい。そのほか道からは、宿泊施設に対して支払う手数料や、システム導入経費の支援（2分の1）について説明された。宿泊業者の大きな負担にならないよう、今度の動向について注視する。



おおむら ゆうすけ 議員  
大村 優介

ため、小規模校の強みを生かして、ひとりひとりに寄り添った教育を小中9年間を通して効果的に進めるために「義務教育学校」の設置を検討している。

#### 大村議員

義務教育学校の特徴として、9年間で一貫性がある、目的を持った教育が行える一方、人間関係に問題が起きると学校に通いづら



地域おこし協力隊が授業にはいり、魅力ある授業づくりに取り組んでいる

くなるというデメリットもある。

このような課題への対策として、児童にヒアリングを行い学校や家庭と連携して児童をサポートする、スクールソーシャルワーカーが必要だと考えるが、そのような想定はされているか。

### 教育長

ご指摘のとおりメリットがあればデメリットもある。小中の教員全体で見守ることで、より目の行きとどいた対応はできると考えるが、突発的な事案が出たとき

のため、教育委員会でもスクールソーシャルワーカーについて調べた。

しかし、町村部では専門家の確保が難しく、賃金の問題もある。近隣町村と連携しての採用ができないか考えている。

### 大村議員

もう一つのデ

メリットとして、小学校卒業の節目がなくなることや、高学年になることで培われるリーダーシップが育たないのではないかという懸念がある。そういった成長の機会づくりの場を設ける施策は考えているか。

### 教育長

ご指摘のとおり節目がなくなり、9年目にやっと学びの成果が出るかたちになる。それまでの過程についても充分協議したいと思う。

成長の機会づくりとして、今も地域人材を活用した学びの場をつくっているが、それをさらに系統立てて、明確な目標をもって行っていくたい。

そういう中で、子どもたちが成功体験を得ることで、自分の考えを持てるようになり、成長につながるかと考えている。

### 大村議員

義務教育学校

を検討していくにあたって、保護者や町民の質問を受け、説明を行う場は設ける予定か。

### 教育長

そのような場を

設け、義務教育学校のメリット・デメリットについても、保護者といっしょに考えていきたい。

### 大村議員

子育て世帯の

移住希望者にとつて、教育がどれだけ充実しているかが移住先の検討材料になる。

上川町は自然や人の豊かさが強み。今後AIが発達し、基本的なことはみんなができるようになっていく中では、学力も大事だが、思いやりや考える力を育てる教育が必要だ。

飽和した教育競争の中で金銭のバックアップや学力強化など同じ項目で戦うより、上

過去の議会を動画で見ることができます

！ YouTube の【上川町議会チャンネル】へアクセス！

右の二次元バーコードを読み込むか、インターネットで【上川町議会チャンネル】と検索してみてください。



川らしさを生かした教育の魅力化を進めていってほしい。

## 上川高校

上高生への学習支援の充実を 他1件

教育町「進学希望者への支援環境を整えていきたい」

上川高校の存続のための  
魅力向上対策について



無料で使える学習室「探求ルーム」

小林議員

上川高校を存続させるための魅力向上対策として、希望の進路に進めるような教育を施すためのスタ

ディサプリの導入やオンラインの塾、勉強をする場所の確保など、学習ができる環境が必要ではないか。教育長の考えを伺う。

教育長

教育委員会では、高校生を対象とした地域未来塾を定期考査の時期に合わせ年3回開催しており、地域おこし協力隊、旭川市立大学の学生などが生徒の学習支援にあたっている。

また学習環境については、かみんぐホールに無料の学習スペースを開設しているが、まだ高校生の利用実績がないため、その利用促進を図ってきたい。

提案のあった公設塾については、他町での導入例や生徒・保護者からの要望なども含め



こばやし つぐお 議員

て、今後の検討課題としたい。

小林議員

学力の向上には日々の学習の積み重ねが肝要だ。町内でそのようなシステムを作る必要があると思うが。

教育長

現在、上川高校卒業後の進路希望としては、就職・専門学校希望が多いが、国公立大学への進学を希望する生徒がいたときには支援をし、進学していった。

大学進学を希望する生徒については対応していく。教育委員会としても、今後どのような支援ができるか考えていきたい。

学校歯科検診、高齢者施設での歯科検診をより良くするために

小林議員

学校や高齢者施設での検診は病気の早期発見などにも重要だ。しかし現在の検診では専用のライトや椅子などの設備が不足しているように見受けられる。環境整備が必要と考えるが、町長の考えを伺う。

町長

歯の健康を維持することは、充実した生活を送るために重要であり、健康寿命の延びにも寄与していることは認識している。しかしながら高齢者施設、学校共に、今以上の設備を整えるのは設置場所や財政面から困難な状況である。

今後、施設などからご意見があれば、協議の上、検討していきたい。



# 議 案 審 議 結 果



## 7月臨時会

7月12日に開会し、財産の取得3件、一般会計ほか全3会計の補正予算などの6件を審議し、12日中に閉会。

### 可決議案等

#### ■財産の取得

◎財産（上川町認定こども園事務用等備品）の取得について

「上川町認定こども園ここふれ」の事務備品等を整備する。

◎財産（医用画像情報システム・X線骨密度測定装置）の取得について

レントゲン画像を医療センター内、各モニターに配信するシステムや、腰やひざなど全身の骨密度が測れる装置等を更新する。

◎財産（総合行政ネットワークシステム機器）の取得の一部変更について

利率を0.2%から0.3%に変更する。



こども園の愛称は「ここふれ」

#### ■補正予算

◎令和6年度上川町一般会計補正予算（第3号）

主な内容

| 款   | 補正額         | 補正前の額                                                   | 補正後の額        |
|-----|-------------|---------------------------------------------------------|--------------|
|     | 1億1,013万6千円 | 60億5,397万円                                              | 61億6,410万6千円 |
| 総務費 | 6,996万6千円   | 役場庁舎パイロットオフィス設営・DX推進事業に伴う消耗品費・修繕料等                      |              |
| 民生費 | 2,497万9千円   | 低所得世帯給付金支給事業に伴う消耗品費、基幹系システム改修業務委託料、対象となる208世帯への負担金及交付金等 |              |
| 衛生費 | 169万1千円     | 福祉会館の警備・清掃業務等に係る単価変更に伴う委託料                              |              |
| 教育費 | 1,350万円     | 落雷によるかみんぐホール館内放送設備の故障に伴う修繕料、各施設の警備・清掃業務等に係る単価変更に伴う委託料   |              |

◎その他特別会計補正予算

主な内容

| 国民健康保険<br>上川町立診療所事業<br>特別会計 | 補正額     | 補正前の額                         | 補正後の額       |
|-----------------------------|---------|-------------------------------|-------------|
|                             | 401万1千円 | 4億4,612万9千円                   | 4億5,014万円   |
|                             |         | 清掃・ボイラー管理・公務補業務等に係る単価変更に伴う委託料 |             |
| 介護医療院事業<br>特別会計             | 補正額     | 補正前の額                         | 補正後の額       |
|                             | 171万8千円 | 1億6,330万5千円                   | 1億6,502万3千円 |
|                             |         | 清掃・ボイラー管理・公務補業務等に係る単価変更に伴う委託料 |             |

**Pick Up !** こども園開設まであと5か月を切り、着々と準備が進められているぽわん。7月臨時会で事務用備品（デスク、ロッカー等）の購入、9月定例会でWi-Fi機器の整備をすることが決まり、町が新しい施設をつくるときに必ず行う施設設置条例も提案されたぽわん。



# 9月定例会

9月11日に開会し、財産の取得1件、条例の制定1件、条例の改正3件、一般会計ほか全4会計の補正予算などの21件を審議し、12日閉会。

## 可決議案等



認定こども園の遊戯室。町産材を多く使った開放感のあるづくり

### ■財産の取得

◎財産（上川町認定こども園ネットワークシステム機器）の取得について

「上川町認定こども園ここふれ」にWi-Fi機器等のネットワーク機器などを整備する。

### ■条例の制定

◎「上川町認定こども園条例」の制定について

令和7年4月1日開園予定の「上川町認定こども園」を設置するにあたり必要な事項を定めるため、新たに条例を制定する。

### ■条例の改正

◎「上川町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例」の一部を改正する条例について

介護保険法施行規則に、地域包括支援センターの常勤換算方法の規定が、追加されたことによる改正。

◎「上川町地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に係る基準を定める条例」の一部を改正する条例について

地域包括支援センターの職員数について、柔軟な職員配置を行うことができるよう、常勤換算方法で算出することができる規定を追加。

◎「上川町国民健康保険条例」の一部を改正する条例について

被保険者証が原則廃止され、マイナンバーカードと一体化になることに伴う改正。

### ■規約の変更

◎北海道後期高齢者医療広域連合規約の変更について

被保険者証が原則廃止され、マイナンバーカードと一体化になることに伴う規約の改正。

### ■付託

◎令和5年度一般会計ほか全8会計の決算認定について

決算審査特別委員会に審査を付託（p13に特集ページ）

◎「上川町認定こども園条例」の制定について

産業福祉常任委員会に審査を付託



**Pick Up !** 紙の保険証が12月2日からなくなるぽわん。

町でも国民健康保険と後期高齢者医療の保険証をマイナ保険証に切り替えるために、条例・規約の改正とシステム改修を行っているぽわん。みんなも準備をお願いしますぽわん。

## ■専決処分

### ◎専決処分（令和6年度上川町一般会計補正予算（第4号））

水泳プールの灯油漏えい事故に係る補正予算について、専決処分を行ったもの。

（右写真）7月8日に判明した灯油漏えい事故に対し、周辺土壌の処理を行う様子。石狩川への灯油流出は確認されていない。



## ■補正予算

### ◎令和6年度上川町一般会計補正予算（第5号）

主な内容

| 款       | 補正額       | 補正前の額                                             | 補正後の額        |
|---------|-----------|---------------------------------------------------|--------------|
|         | 4,455万8千円 | 61億6,903万4千円                                      | 62億1,359万2千円 |
| 総務費     | 1,273万3千円 | 地域活性化起業人の活用に伴う委託料、サステナブル普及イベントの企画運営に係る負担金補助及交付金 等 |              |
| 民生費     | 621万6千円   | マイナンバーカードと保険証の一体化に対応するシステム改修業務委託料 等               |              |
| 衛生費     | 628万円     | 新型コロナ定期接種ワクチン購入費 等                                |              |
| 農林水産業費  | 145万3千円   | ヒグマ出没に伴う電柵購入に係る備品購入費                              |              |
| 商工労働観光費 | 1,598万9千円 | 産業振興補助事業補助金、事業承継・新規開業支援事業補助金 等                    |              |
| 消防費     | 3万7千円     | 消防団員の退職に伴う特別退職報償金                                 |              |
| 教育費     | 185万円     | スケートリンク整備に伴うトラクター修繕料                              |              |

### ◎その他特別会計補正予算

主な内容

|                                       |           |             |             |
|---------------------------------------|-----------|-------------|-------------|
| 介護保険事業特別会計                            | 補正額       | 補正前の額       | 補正後の額       |
|                                       | 1,140万6千円 | 5億2,087万円   | 5億3,227万6千円 |
| 前年度介護給付費など額の確定に伴う、国・道への返還及び一般会計への繰出 等 |           |             |             |
| 国民健康保険上川町立診療所事業特別会計                   | 補正額       | 補正前の額       | 補正後の額       |
|                                       | 160万8千円   | 4億5,014万円   | 4億5,174万8千円 |
| 医師住宅の修繕料、心電図機器の検査データ管理システム保守業務委託料 等   |           |             |             |
| 介護医療院事業特別会計                           | 補正額       | 補正前の額       | 補正後の額       |
|                                       | 7万円       | 1億6,502万3千円 | 1億6,509万3千円 |
| 医療廃棄物処理に係る梱包ボックス等の有料化に伴う委託料           |           |             |             |

## ■同意

### ◎上川町教育委員会委員の任命について

谷越<sup>たにこし</sup>一仁<sup>かずひと</sup>氏の再任。

## ■議員派遣

### ◎上川管内町村議会議員研修会への議員派遣について

## まちづくりトークをしませんか？

地域の課題について議員と懇談しませんか？町民との対話、自治会や各種団体との意見交換の場としてご希望に応じて意見交換会を開催しています。

申込先～議会事務局

電話 (01658) 2-4064 FAX (01658) 2-1220

# 決算審査 特別委員会 のようす

令和5年度一般会計ほか全8会計の決算を認定しました。質疑を一部要約してお伝えします。



**総務費**  
「スノモへの送迎支援を」

**湯川委員**

「子どもがプログラミングに触れやすくなるよう送迎支援をしては」

**地域魅力創造課長**

「スノモの稼働率を上げるためにも、バスの配車等、7年度予算で検討していきたい」



**農林水産業費**  
「農地改善対策事業の成果は」

**湯川委員**

「2件の農家へ計412万円の補助ということだが中身は」

**産業経済課長**

「畑の基盤整備や、水田を大きくするなどの経費を補助した」



**住宅使用料**  
「未収金の世帯の状況は」

**淵上委員**

「収入未済54件のうち、一切納めなかった世帯数と状況は」

**建設水道課長**

「16件で、町外に転出したり死亡していたりする世帯である」

**下水道事業会計**

「下水道会計厳しい状況だが改善策は」



**淵上委員**

「厳しい経営状況だが、料金改定や下水道に接続していない施設との話し合いの進捗状況は」

**建設水道課長**

「企業会計にしたことで経営状況が見やすい形に整理され、見直しは避けて通れない。下水道に接続せずに浄化槽を持つ施設もあり、そこには接続をお願いしていく」

**町長**

「料金改定については、この小規模自治体でどこまで可能かも含め、同様に苦慮している自治体等を研究しながら取り組んでいきたい」

**委員長報告**



(笠間委員長)

令和5年度は、住民福祉の向上と地域振興に配慮した事業が多岐にわたり展開され、それらの事業内容についての説明を受けた。活力と魅力あるまちづくりに積極的に取り組み、特に新型コロナウイルススワクチン接種体制の確保や2度にわたる地域生活応援券事業など、町民が安全安心な生活ができるよう対策を講じた。

今後も持続可能な自治体運営を確立するため、将来負担比率の抑制や町税等の収納率向上にも努めてもらいたい。

審議を踏まえ、後年度の住民福祉の向上、産業の振興、さらには教育・文化・スポーツの振興等の各分野において更なる振興・発展また、健全財政のもとで各種事業を継続的に推進していくことを期待して、各会計決算を認定することに決定した。

(一部抜粋)

# 委員会の動き

## 総務文教常任委員会

▽6月21日

- ・現地視察調査（かみんぐホール空調改修、栄町パークゴルフ場休憩所、認定こども園、火葬場火葬炉など）
- ・所管事務各課等の主要事業の説明を受けた。委員からは「フロントヤード改革」「中学校の部活動」についての質疑および意見が出された。



新しくなった栄町パークゴルフ場休憩室

▽8月8日

- ・大雪かみかわヌクモの5年度実績ならびに6年度事業計画
- ・デジタル田園都市国家構想交付金事業（地方創生タイプ）
- ・みんなが輝くまち上川事業支援金制度
- ・上川町130年・開村100周年記念事業
- ・企業版ふるさと応援寄附
- ・委員からは「町民目線に立った事業説明をすべき」や「ヌクモの入込増のため、値下げ以外の改善策は考えているか」などの質疑や意見が交わされた。



ヌクモのプログラミング体験料が1500円から1000円に改定された

▽8月27日

- ・令和5年度の各会計の決算概要の説明を受けた後、財政状況の数値について中央部8町と比較しながら説明を受けた。

▽9月2日

所管事務に関する意見書審査

## 産業福祉常任委員会

▽6月26日

- ・現地視察調査（認定こども園、金竜橋補修工事、大雪ファーム水耕栽培施設、流星銀河層瀑線擁壁補修工事、滝休憩舎、滝トイレ）
- ・所管事務各課等の主要事業の説明を受けた。委員からは「保育所栄養士の採用状況」「結婚新生活支援事業」についての質疑および意見が出された。

▽7月17日

- ・大雪森のガーデンの5年度実績ならびに6年度事業計画
- ・観光地づくり対策事業（DMO）補助金の5年度事業実績ならびに6年度事業計画



水耕栽培ミニトマトの説明を聞く委員たち

- ・委員からは「旭ヶ丘のヴィラの冬季間の運営」などについて質疑および意見が出された。

## 森のガーデンの海外セールスでインバウンドは増えたか

宮本委員

海外のお客を呼び込むためのプロモーションを続けているが、インバウンド数は把握できているか。

担当係長

昨年度の入り込みは台湾9265人、韓国2444人。以前と比べると韓国の方が多く訪れてくれるようになった。

▽9月2日

所管事務に関する意見書審査

▽9月5日

- ・認定こども園整備事業
- ・新型コロナウイルス予防接種費用助成事業
- ・農作物の生育状況
- ・委員からは「こども園の雨水排水」「日本遺産の再審査の状況」などについて質疑および意見が出された。

▽7月12日・9月6日

上川町議会定例会および臨時会の運営について

### 議会運営委員会

### 議会広報特別委員会

▽9月25日・10月11日

議会広報第195号の編集及び校正について

### 全員協議会

▽7月3日

- ・公共施設の警備・清掃等業務委託
- ・役場庁舎パイロットオフィス設営DX推進事業
- ・定額減税および定額減税補足給付金（調整給付）
- ・低所得世帯への給付金支給事業
- ・委員からは「適正な入札」「パイロットオフィスの効果」についての質疑および意見が出された。



先行設置された2階パイロットオフィスでのミーティング

## 意見書を提出しました

- ◆特別支援学校の過大過密解消及び特別支援学級の学級編制標準の改善を求める意見書（提出者 溝口久男）
- ◆地方財政の充実・強化に関する意見書（提出者 淵上主美）
- ◆義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、「30人以下学級」など教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた意見書（提出者 昔農正春）
- ◆改正食料・農業・農村基本法の実効性確保等に関する意見書（提出者 石山浩幸）
- ◆国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書（提出者 泉勝雄）

【提出先】衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、ほか関係行政庁

### 意見書は町から国へのおねがい

議員は、上川町の政策に町民代表として意見を言うことで、町民の生活をよりよくしていくことができますが、町民にとって重要なことが国や道の政策であるときは「意見書」を提出して問題解決を求めています。



## 表紙のコメント 幼稚園の園長先生たちの思い

### のぞみ幼稚園園長 安藤 智昭 先生

昨年が開園70周年でした。親・子・孫の3世代で入園してくださったような方々もいて、孫が赤ちゃんの頃から「先生、頼むね!」と。地域に貢献しながら、まだまだ保育を続ける気持ちでした。でも、こども園の話し合いを数年かけて進める中で、さらに町内の子ども数が減ったり、採用職員の条件もよくなったりして、決心がつかしました。

こども園となっても、職員同士よく話せるような環境をつくって欲しいですね。先生が子どものことをよく考えたり、話し合ったりすると、それだけで子どもの発達が目に見えて変わります。

今後も園児みんな元気に成長してくれるよう願っています。



### 上川幼稚園園長 伊藤 聖健 先生

今後は歴史あるこの上川幼稚園の園舎を活用する事業を行う予定です。さまざまな世代の方が集える場所として。

今ってスマホの普及やコロナ禍もあり、みんなが同じ空間で同じものを見たり、同じことを体験したりする経験が足りていないと思うのです。人生の指針になるような映画を観たり、季節に応じた集まりを企画したり、幅広い世代の上川の人たちに資する活動を継続していきたいと思っています。

最後に子どもたちに向けて。たくさん遊んでたくさん学んでください!僕もこども園に遊びに行きます!

一般質問で町政は動き出  
た ね

一般質問が **実** を結ぶ

昨年3月のこの質疑を覚えているでしょうか?



溝口議員「町内会の負担軽減のため、防犯灯の電気料は町が負担すべき!」

佐藤前町長「電気代高騰による負担増は理解する。実情を調査し検討する」



この質疑をきっかけに  
**街灯電気料  
助成事業**  
が始まりました



今後もより良い  
まちづくりに努めます